

# 平成24年9月13日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

## 1 開催概要

- ・開催日 平成24年9月13日（木） 正午から13時まで
- ・会場 長野県林業大学校
- ・参加グループ 長野県林業大学校生
- ・懇談のテーマ『長野県の将来を語ろう』

## 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

### （1）森林資源の利用について

#### （ご意見の概要）

- ・森林資源の利用や小水力発電など自治体としてもエネルギーの生産を推進する取り組みが必要。
- ・研修でオーストリアのチロール地方に行き、そこでバイオマス発電の電力を供給することで企業誘致に取り組んでいることを知ったが、長野県でもできるのではないか。

#### （知事の発言）

- ・県内の小水力発電の適地調査の実施と、中信地域で木材加工、発電施設、熱供給施設が併設された施設を産学官で事業化することを考えている。
- ・自然景観は海外に負けていないが、人の作る景観は負けていると感じている。
- ・研修で参考になったことなど、皆さんのレポートを読ませてほしい。

#### （ご意見等に対する対応状況）

- ・平成24年度に長野県環境エネルギー戦略を策定し、「エネルギー自立地域」の実現に向けて取り組んでいくこととしています。
- ・平成25年度には、県内の小水力発電や太陽光発電事業、木質バイオマス発電をはじめとして、木質バイオマスによる熱供給事業など地域経済の活性化にも資する、市町村や民間事業者等による地域主導型の自然エネルギー事業に対して支援していきます。

【担当課：温暖化対策課】

- ・適地調査については、「農業用水路活用小水力発電適地調査事業」（H24年9月補正）により実施しています。（調査対象：基幹的な農業用水路全110路線、延長約700km）調査結果は平成25年度中に取りまとめます。【担当課：農地整備課】

- ・森林資源のエネルギー利用については、産・学・官連携で『信州F・POWERプロジェクト』を立ち上げ、長野県初の集中型の加工施設の整備、バイオマス発電施設の併設、計画的熱利用を通じた地域活性化及び原木の安定供給体制の構築に取り組んでいます。
- ・本プロジェクトをはじめとして、森林資源のバイオマスエネルギーとして安定的・効率的な活用に向け、取り組んでまいります。【担当課：県産材利用推進室】

### （2）県産材の流通システムについて

#### （ご意見の概要）

- ・木材の搬出の仕組みづくりや、加工、エネルギー施策など川上から川下までが一体となったマネジメントを県で行ってほしい。

#### **(知事の発言)**

- ・ 県産材の加工から流通、販売までのルートの整備が必要。
- ・ 全体のマネジメントについては県も考えるが、それぞれの地域の森林組合などの関係者が主体的に考えていくことが大事。

#### **(ご意見等に対する対応状況)**

- ・ 『信州F・POWERプロジェクト推進事業』として、木材加工や木質バイオマスエネルギー施設に、年間を通じた安定した木材の供給する仕組みを作る「サプライチェーンセンター構築事業」や「未利用木材生産システム検証事業」など平成25年度新規事業により、県産材の需要拡大から供給側を引っ張る仕組み等、林業の自立を目指し取り組んでいきます。

**【担当課：県産材利用推進室】**

### **3 問合せ先**

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp